

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

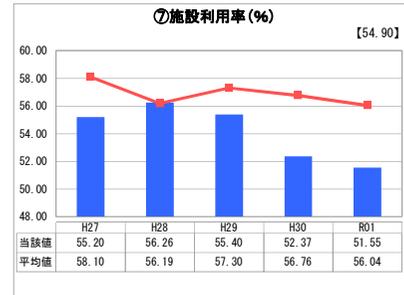
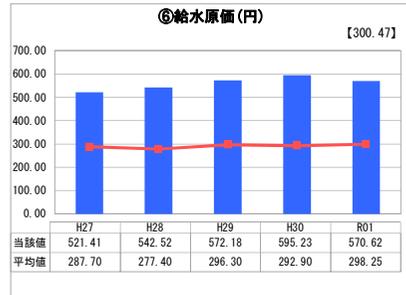
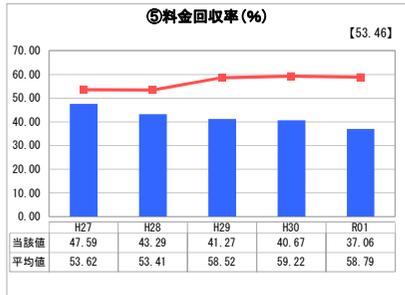
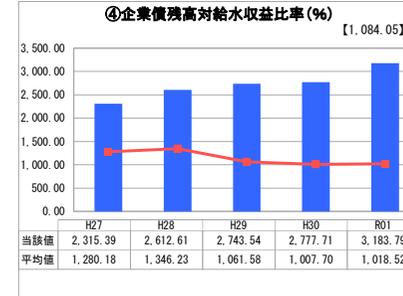
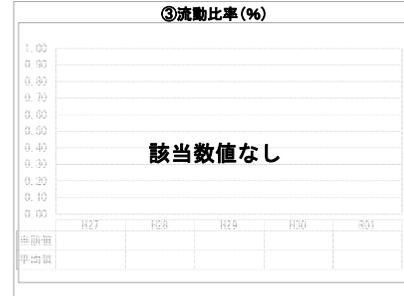
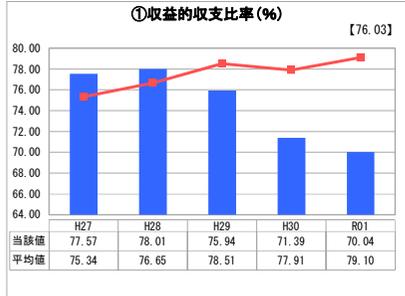
京都府 綾部市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	13.82	4,180	

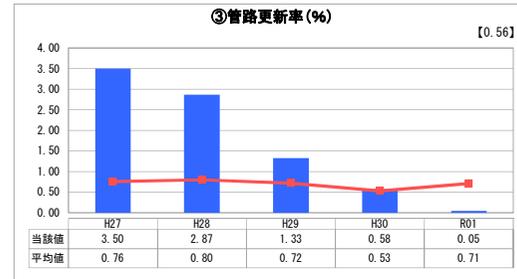
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,212	347.10	95.68
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,396	14.40	305.28

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は70.04%で、単年度収支は赤字です。給水人口が少ない上、給水区域が広く集落が点在しているため、事業効率の悪いことが影響しています。

②企業債残高対給水収益比率は3,183.79%で類似団体平均値を大きく上回っています。近年、多額の企業債を発行して、簡易水道統合整備事業の進捗を図っていることによりです。

③料金回収率は37.06%で、給水に係る費用を給水収益のみで賄うことができていません。簡易水道事業は、事業効率が悪いため、一般会計からの繰入金により収入不足を補っています。

④給水原価は570.62円で類似団体平均値を大きく上回っています。これは、給水面積が広く給水集落も点在しているため、設備投資、施設の維持管理費等に多額の経費が必要であり、事業効率の悪いことが影響しています。

⑤施設利用率は51.55%と類似団体平均値を下回っていますが、地域の特性上、お盆または年末年始など一時的に使用量が増加する時期があること、災害に対応できるように一定の余裕は必要と考えています。

⑥有収率は88.31%で類似団体平均値を大きく上回っています。これは、簡易水道統合整備事業において、管路の更新を計画的に進めていることにより、漏水を減らすことができています。

### 2. 老朽化の状況について

③管路更新率は0.05%で、類似団体平均値を大きく下回っています。簡易水道事業の上水道事業への経営統合に向けて、簡易水道統合整備事業の進捗を図ってきたことにより、老朽管の更新が急速に進んでいましたが、統合整備事業が終わりに近づいてきたことにより更新率が下がっています。

### 全体総括

簡易水道事業は、事業効率が悪いため、単年度収支は赤字となっており、一般会計からの繰入金により収入不足を補っている状況です。

令和2年度に、簡易水道事業の上水道事業への経営統合を予定していますが、給水収益はさらに減少する見込みであり、上水道事業の経営状況も悪化することが予想されます。

今後とも、安全・安心な水を安定して供給し続けるために、水道事業ビジョンに基づき、水道施設の適切な管理運営や更新事業などを計画的に推進し、更なる経営の健全化に努めます。